

## 放課後子ども教室「アスク」

平成27年度放課後子ども教室(アスク:富川)が始まり、第1回目の教室として「野菜を育てよう(種まき)」を5月22日に開催しました。今年の参加者はとても多く、1年生から3年生まで合計59名の参加がありました。

今年はじゃがいもと人参を植えました。天候に恵まれ気温は暖かく、コーディネーター・安全管理員の方の協力の下みんなで種まきを楽しんでいました。

今後は草むしりを6月26日(金)と7月24日(金)に、収穫を8月28日(金)に予定しています。



## 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)が始まります!

### 【社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)とは】

マイナンバーは、住民票を有する全ての方に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。

### 【平成27年10月からマイナンバー(個人番号)が通知されます】

市町村から、住民票の住所に通知カードが送付されます。通知カードを受け取られた方は、同封された申請書を郵送すること等により、市町村の窓口で個人番号カードの交付を受けることができます。

### 【平成28年1月から、マイナンバーは社会保障、税、災害対策の行政手続で利用します】

年金、雇用保険、医療保険の手続、生活保護や福祉の給付、確定申告など税の手続など、法律で定められた事務に限って、マイナンバーが利用されます。民間事業者でも、社会保険、源泉徴収事務などで法律に定められた範囲に限り、マイナンバーを取り扱います。

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現するための社会基盤です。

#### 行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで、様々な情報の照合や入力などに要している時間や労力が大幅に削減されるとともに、より正確に行えるようになります。

#### 国民の利便性の向上

添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、負担が軽減されます。情報提供等開示システムによる情報の確認や提供などのサービスを利用できます。

#### 公平・公正な社会の実現

所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなり、脱税や不正受給などを防止するとともに、本当に困っている方にきめ細やかな支援を行います。



マイナンバー  
愛称: マイナちゃん

### 【法律で定められた目的以外でマイナンバーを使用したり、他人に提供したりすることはできません】

他人のマイナンバーを不正に入手したり、正当な理由なく提供したりすると、処罰されることがあります。マイナンバーと結びついた個人情報を保護するため、様々な対策を講じます。

### 【事業者が扱うマイナンバー業務について】

事業者のみなさまは、行政手続のため、従業員などのマイナンバーを取り扱います。また、マイナンバーの適切な安全管理措置に組織としての対応が必要です。

### 【もっと詳しく知りたい方は…】

マイナンバーの最新情報や各種制度概要、法令等は社会保障・税番号制度(マイナンバー)のホームページに掲載されています。 <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/> (内閣官房)

マイナンバーコールセンター 0570-20-0178 (全国共通ナビダイヤル)

平日9:30~17:30(土日祝・年末年始を除く)



# 日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第32号 2015. 6.

## GW 特別企画を2本、ダブルで開催しました。

大型連休中、恒例の企画となってきました。

5月2日～6日に、大型連休の特別企画として、宝石すくい体験会と入館料半額の2つの特別企画を開催しました。

この時期に恒例となりましたが、開催期間中の入館者は、「入館料半額」の効果もあったのでしょうか、500名近くになりました。さらに、5月3日には、こちらも恒例になりました「日高「春」の味覚フェア・北海道オールドカーフェスタ」も開催され、博物館も期間を通して盛況でした。

この企画の参加者からは、「去年もチャレンジしました」「また来ました」「今度はいつ開催するのですか」といった声も聞かれ、この時期の恒例企画として認知されてきているとともに、企画を楽しみにしておられる方もいらっしゃるようで、たいへんうれしい限りです。今年は、9月にも同様の大型連休がありますので、こちらでも企画の開催を検討したいと思います。



## 日高山脈ネイチャーセミナー2015「日高の動物昆虫観察会」開催します。

日高の動物や昆虫を観察記録する方法を学びます。継続開催で環境変化も記録。

日高の大自然の中には、どのような動物や昆虫がいるのでしょうか。それらを見つけ、記録する方法を学びます。今回も、山奥へ入って観察しようと考えています。昨年と同じ講座を同じ時期に継続開催していますが、昨年度とのさまざまな環境や生き物の変化も記録してみましょう。内容などのお問い合わせは、日高山脈博物館へお願いいたします。

日 時：7月18日(土) 10時～16時 場 所：日高山脈博物館に集合  
講 師：村井 雅之先生(ゆうふつ原野自然情報センター主宰)  
対 象：高校生以上 締 切：7月10日(金)  
持ち物：野外活動の服装、飲み物、タオル、観察に便利な道具(ルーペ等)

日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひ活用下さい。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。